

ACP (Advance Care Planning) 人生会議について

岡山家庭医療センター

奈義・津山・湯郷ファミリークリニック 松下明



望まない最期の迎え方どう思いますか？

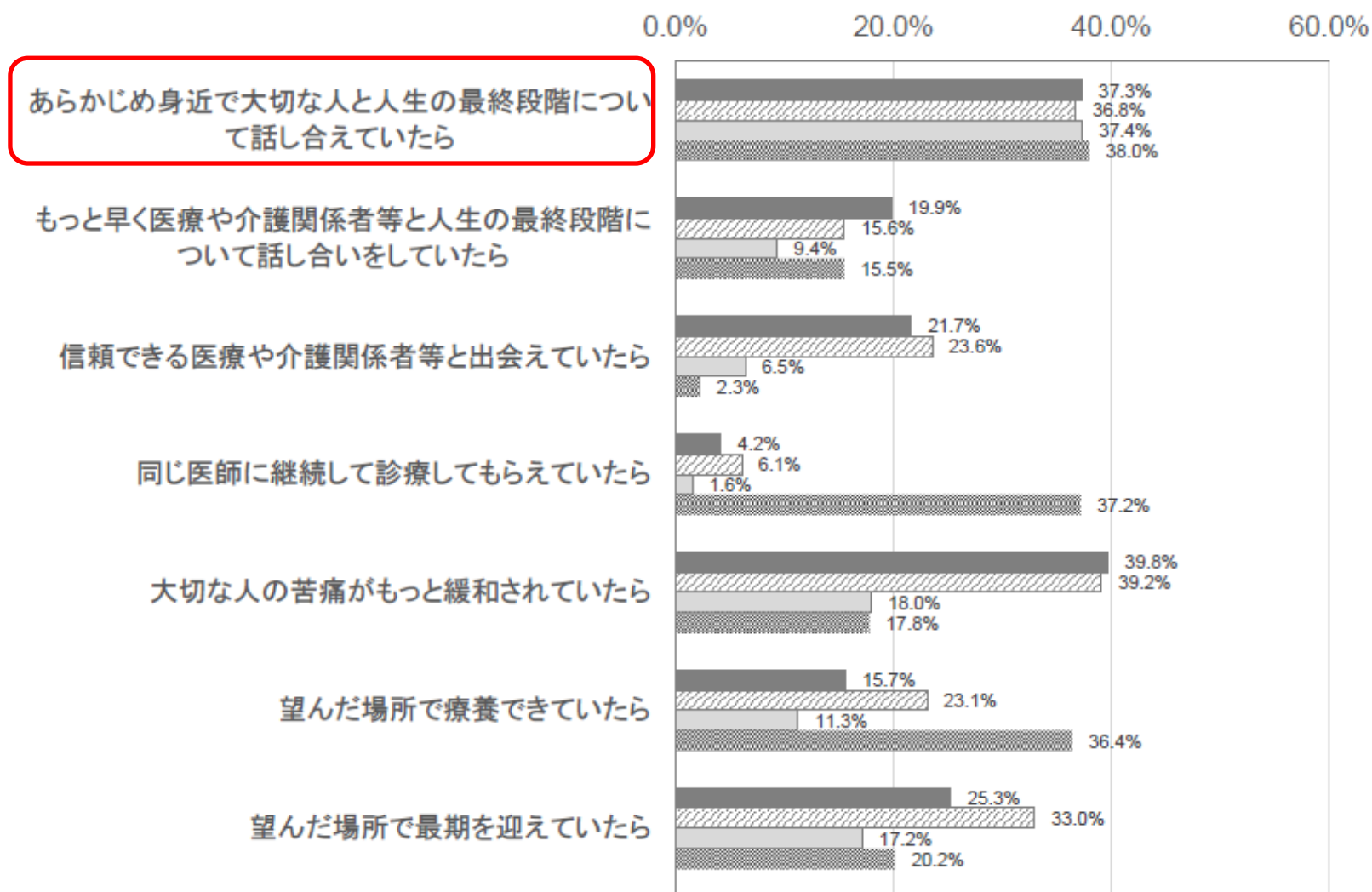
- 超高齢独居もしくは老夫婦世帯が多い奈義町では急に体調不良となって救急車搬送に至る例が散見
- ケースによっては救急外来で家族に【どこまで治療しますか？】が問われる場面がよくみられます
- 心肺蘇生や入院後の胃瘻など何をどこまでするか本人の意思確認ができない場面では家族は苦悩します
- 【やって下さい】【しないで下さい】どちらも苦しい選択です



(7-2)どうしていたら心残りがなかったか(心残りが「ある」と回答の方が対象)(複数回答)

■ 一般国民(n=166) ▨ 医師(n=212) □ 看護師(n=372) ▩ 介護職員(n=129)

厚労省H29アンケート結果

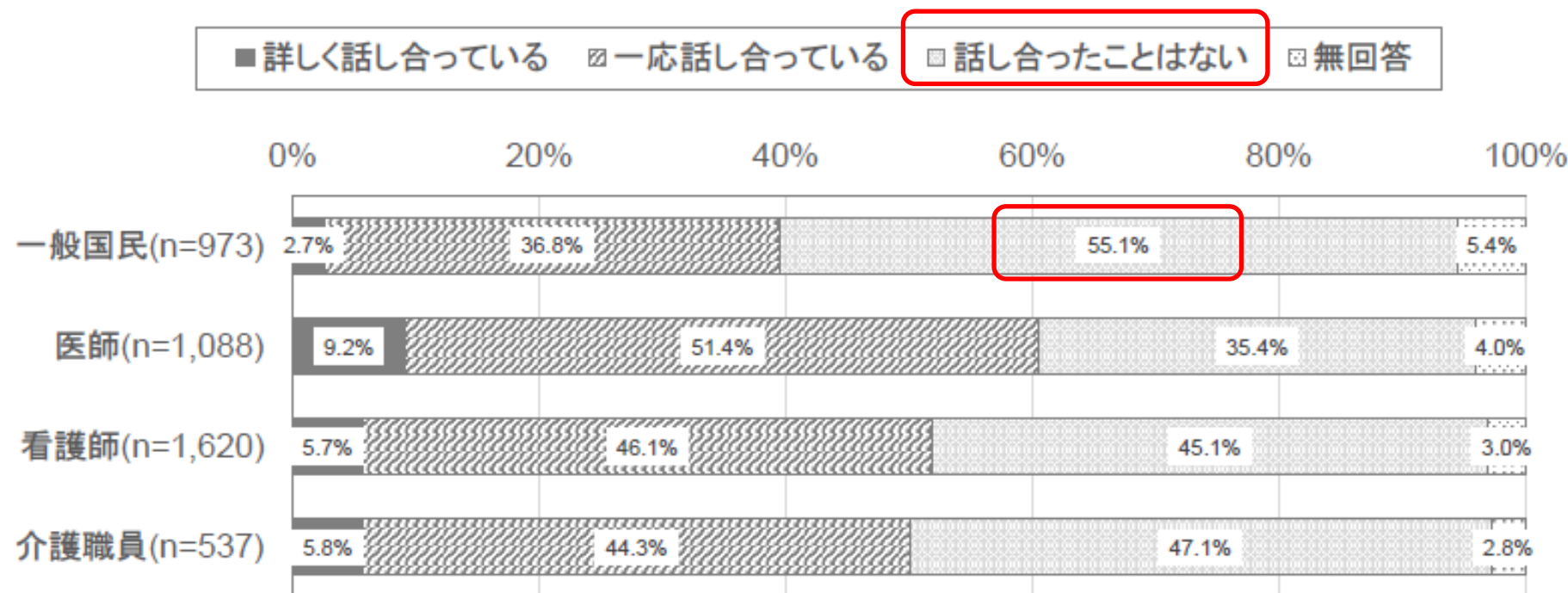


問2 あなたの死が近い場合に受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とどのくらい話し合ったことがありますか。(〇は1つ)

※「ご家族等」の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めて欲しいと思う人(知人・友人)を含む。

ご家族等や「医療介護関係者と話し合ったことがある(詳しく話し合っている、一応話し合っている)割合は一般国民では 39.5%、医師 60.6%、看護師 51.8%、介護職員 50.1%であった。(図1-1-2)

図1-1-2 人生の最終段階における医療について家族等や医療介護関係者との話し合いについて



「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」 における意思決定支援や方針決定の流れ（イメージ図）（平成30年版）

人生の最終段階における医療・ケアについては、医師等の医療従事者から本人・家族等へ適切な情報の提供と説明がなされた上で、介護従事者を含む多専門職種からなる医療・ケアチームと十分な話し合いを行い、本人の意思決定を基本として進めること。

心身の状態に応じて意思は変化しうるため
繰り返し話し合うこと



主なポイント

本人の人生観や価値観等、できる限り把握

本人の意思が
確認できる

本人と医療・ケアチームとの合意形成に向けた十分な話し合いを踏まえた、**本人の意思決定が基本**

本人や家族等※と十分に話し合う

・家族等※が本人の意思を推定できる

本人の推定意思を尊重し
本人にとって最善の方針をとる

話し合った内容を都度文書にまとめ共有

本人の意思が
確認できない

・家族等※が本人の意思を推定できない
・家族がいない

本人にとって最善の方針を
医療・ケアチームで慎重に判断

人生の最終段階における
医療・ケアの方針決定

- ・心身の状態等により医療・ケア内容の決定が困難な場合
- ・家族等※の中で意見がまとまらないなどの場合等

→複数の専門家で構成する話し合いの場を設置し、方針の検討や助言

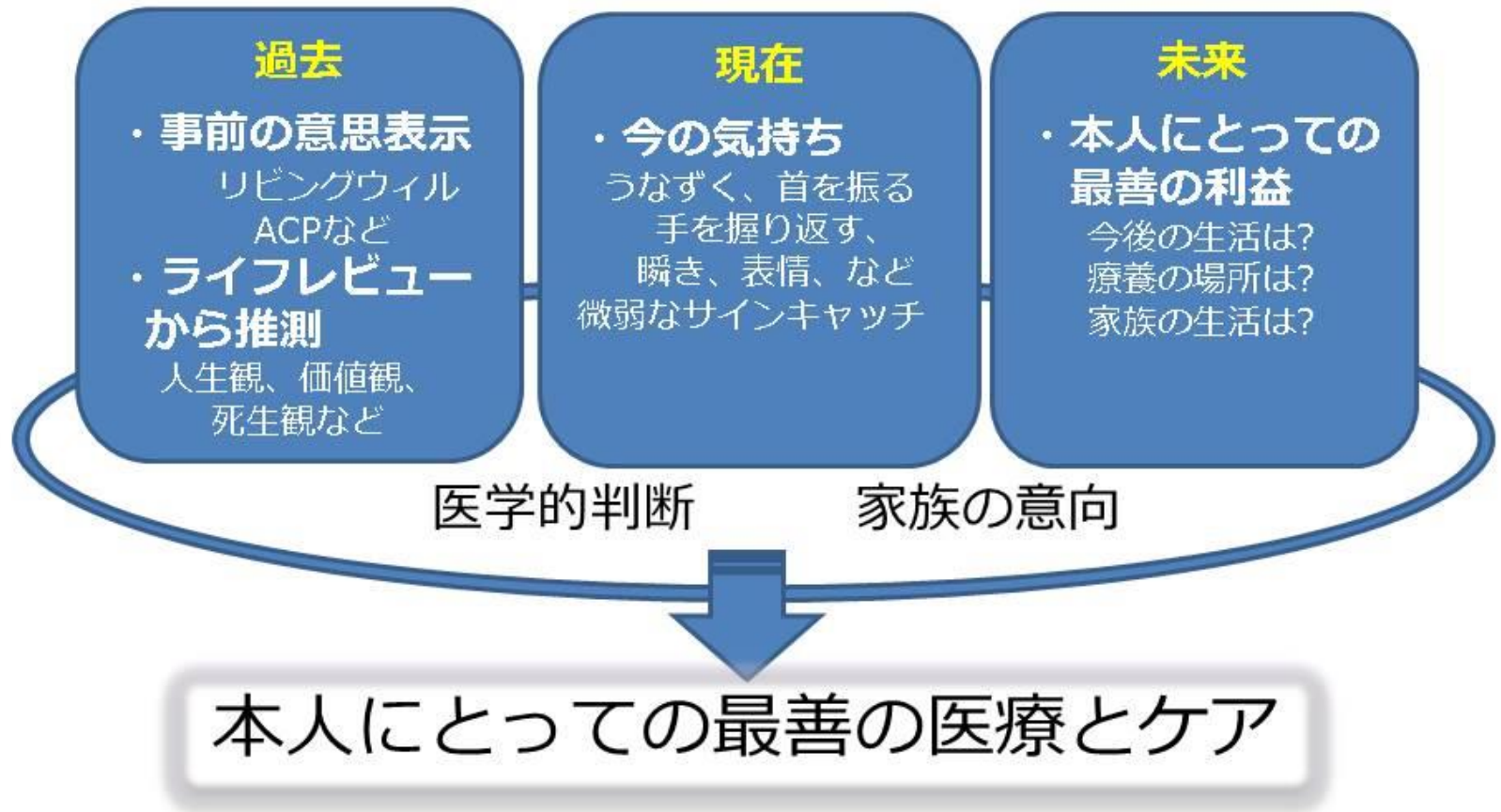
※本人が自らの意思を伝えられない状態になる可能性があることから、話し合いに先立ち特定の家族等を自らの意思を推定する者として前もって定めておくことが重要である。

※家族等には広い範囲の（親しい方々等）を含み、複数存在することもある。



意思決定支援の概念図

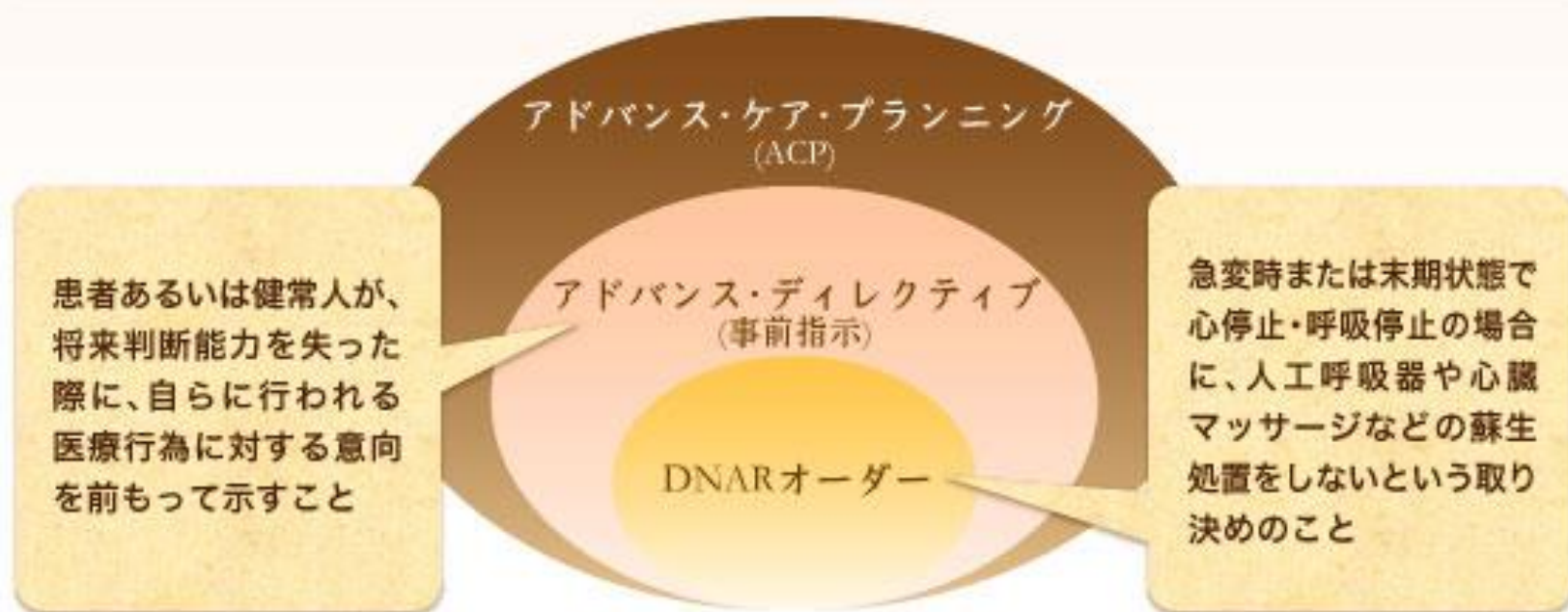
< 本人の意思の3本柱 >



Education For Implementing End-of-Life Discussion

エンド・オブ・ライフケアの実践で重要な考え方

事前指示の前に重要なACP



千葉大学大学院看護学研究科

エンド・オブ・ライフケア看護学

■NEWS アドバンス・ケア・プランニング（ACP） の愛称を「人生会議」に決定—厚労省 2018/11/30



ACP愛称選定委員会構成員（敬称略、五十音順）

※ ○は座長

○内多 勝康（国立成育医療研究センターもみじの家ハウスマネージャー、元NHKアナウンサー）

小藪 千豊（タレント）

小山 薫堂（放送作家、脚本家、京都造形芸術大学副学長）

鈴木 美穂（認定NPO法人マギーズ東京共同代表理事）

新浪 剛史（サントリーホールディングス代表取締役社長）

樋口 範雄（武蔵野大学法学部特任教授）

紅谷 浩之（オレンジホームケアクリニック代表）

松原 謙二（公益社団法人 日本医師会副会長）

ACPの効用

- ACPを行うと

- 患者の自己コントロール感が高まる

Morrison, J Am Geriatr Soc. 2005

- 代理決定者※-医師のコミュニケーションが改善

Teno J. JAGS 2007

※ガイドラインでは、「本人の意思を推定する者」とのコミュニケーションの改善が期待される

- より患者の意向が尊重されたケアが実践され、患者と家族の満足度が向上し、遺族の不安や抑うつが減少する

Detering K, BMJ 2010

ACP の問題点

- 心の準備ができていないと利益よりも害が多い
 - 希望を失ってしまうことがある
- 本人の希望を奪いたくない医師の考え
 - 話し合いを始めることが難しい
- 時間と手間がかかる

Johnson S. Psycho-Oncology 2015

ACPにおける家族の2つの役割

- 患者の声を代弁するもの
「患者さん自身はどのようにお考えとおもわれますか？」
- 患者の事を大切に感じ、世話するものとしての意向を表現するもの
「ご家族として、どのようなお気持ちでしょうか？」

平成28年度人生の最終段階における医療体制整備事業
研修会資料から



実際の進め方

国民全体
(地域住民への普及啓発)

- ・ 本人の意思を推定する者を本人自身が選ぶ
- ・ 価値を話しあう

人生の最終段階を自分のこととして考える時期にある人
(医療・ケアの現場での実践)

- ・ 準備状態を確かめた上で
- ・ 医療・ケアの目標や具体的な内容について話し合う

ACPに対する奈義町での取り組み

完成したエンディングノートは年齢にかかわらず全2400世帯に配布し、説明会を複数回行うだけでなく、介護と演劇のワークショップを通しての普及活動を開始している。



東洋経済HPから
岡山県奈義町が実現した「老いを楽しむ」社会



奈義町版ACP



奈義町版ACP

もしもの時のページ(次ページ)の用語の説明

【終末期とは】

治らない病気にかかり死が近くなった時、回復が難しい時のことです。



【延命治療とは】

病気が治る見込みがないにもかかわらず、延命するため(死の経過や苦痛を長引かせる)のすべての手段・医療措置を意味します。



延命治療の医療行為

●心肺蘇生とは

死が迫った時に行われる胸骨圧迫、気管挿管、気管切開、人工呼吸器の装着、昇圧剤の投与などの医療行為をいいます。



●人工呼吸とは

人工呼吸器を装着して強制的に肺の換気を行う方法です。



●胸骨圧迫とは

心肺蘇生法の一つで胸の真ん中を圧迫して血液を脳に送る手法です。



●胃ろうとは

経管栄養の一つでお腹から胃の中にカテーテルを挿入し栄養や水分を補給する方法です。



●高カロリー輸液とは

手足の静脈よりも太い静脈(中心静脈)にカテーテルを挿入して通常の輸液(点滴)よりも栄養素が多く入った輸液を行うことです。



【緩和ケアとは】

疾患や病期にかかわらず患者本人と家族の苦痛(身体的、精神的、社会的つらさ)を医療・介護チームとして軽減することです。



もしものときのページ

記入日 年 月 日 1回目

○私の医療等に対する希望(事前指示書)

希望される項目の□欄にチェックを入れましょう。

I「終末期(治らない病気にかかり死が近くなった場合)」希望したいこと

①終末期を迎える場所の希望はどこですか？

☐ 病院 ☐ 自宅 ☐ 施設 ☐ 病状に応じて

②病名の告知について

☐ 希望します ☐ 希望しません

③余命の告知について

☐ 希望します ☐ 希望しません

※医療等の希望に関わらず、緩和ケアは行われます。

人生の最期の時期に大切にしたいことはなんですか？

II「延命治療(病気が治る見込みがない場合)」について希望したいこと

☐ 延命治療を希望します

①胸骨圧迫(心臓マッサージ)等の心肺蘇生 ☐ 希望します ☐ 希望しません

②人工呼吸器 ☐ 希望します ☐ 希望しません

③胃ろうや高カロリー輸液による栄養補給 ☐ 希望します ☐ 希望しません

☐ 自然な形で最期をむかえられるような治療にしてもらいたい。

もし、私が自分で意志を決定できない状態になった時、受ける医療について、私に代わって意志決定をお願いする人は、次の人です。

(名前) _____ (関係) _____ (連絡先) _____

(名前) _____ (関係) _____ (連絡先) _____

津山市版ACP

人生の最終段階に望む 医療・ケアについて

アドバンス・ケア・プランニング (ACP)



津山市在宅医療・介護連携推進協議会



「人生会議」はACPの愛称です。

〔活用の手順〕

STEP 1 あなたの希望・思いについて考えましょう。

あなたの人生で大切にしたいこと、あなたがこれから受けるかもしれない医療やケアについて考えてみましょう。
まずは、「どこで」「誰と」「どのような生活を」送りたいかを考えてみてください。

STEP 2 あなたの考えや思いを話し合ってみましょう。

配偶者やパートナーといった身近で信頼のおける人たちと話し合ってみましょう。
話し合う人や人数に決まりはありません。あなたが伝えたい人と話し合うことが大切です。

STEP 3 あなたの代わりに判断をしてくれる人を選びましょう。

話し合ってきた人たちの中からあなたに代わって判断をしてくれる人を選んでみましょう。

STEP 4 あなたの考えや思いをまとめましょう。

まとめた内容を文章に残しましょう。見直すときにこれまでの内容を確認できると考えやすくなるかもしれません。

STEP 5 あなたの考えや思いをまとめましょう。

希望や思いは時とともに変わって行く可能性があります。誕生日や何かの記念日など、機会を捉えて見直してみましょう。

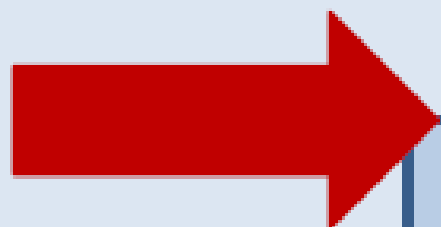
何度も話し合いを行ってみましょう

〔活用の手順〕は「津山市版アドバンス・ケア・プランニング」の流れに沿って説明したものであり、進め方等に決まりはありません。

実際の進め方

国民全体 (地域住民への普及啓発)

- ・ 本人の意思を推定する者を本人自身が選ぶ
- ・ 価値を話しあう



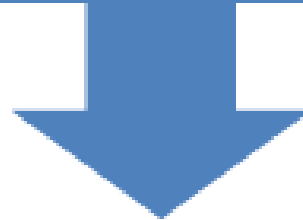
人生の最終段階を自分のこととして考える時期にある人 (医療・ケアの現場での実践)

- ・ 準備状態を確かめた上で
- ・ 医療・ケアの目標や具体的な内容について話し合う

ACP（人生会議）の対象は？

人生の最終段階を自分のこととして考える時期を判断する

この患者さんが1年以内に
亡くなったら驚きますか？



もし驚かないのなら
緩和ケアを開始したほうがよい

緩和ケアを開始する＝ACP（人生会議）を行うと考えてもよい

*Small N. Palliat Med 2010;24:740-741
Hamano J. Oncologist 2015.*

早くから、みんなにACP（人生会議）？

準備状態に応じて行うことが重要

- 病状の進行や身体機能の低下があった時
- 治療の変更時
- 早すぎると利益より害が多いことがある
- 複数に分け、適切な時期に適切な話題を
- まず準備状態を確かめる
 - － 準備ができていれば、病状理解の確認と今後の経過の話し合いからはじめる
 - － いきなり心肺蘇生や看取りについて話すのは控えたほうがよい

Johnson S. Psycho-Oncology 2016

誰がACP（人生会議）の話し合いをするのか

- 自分を最もよく知っている医師が話し合いを始めることが望ましい

Dow LA. J Clin Oncol. 2010.

－病状や今後の経過の話が必須であり、それが
良いきっかけとなるため

- その後の詳細な話し合いは職種を選ばない

話し合いの実際

概要

- 一般的なルール
- 病状の認識を確かめる
- 話し合いを導入する
- 代理決定者を選定する
- 療養や生活での不安・疑問を尋ねる
- 療養や生活で大切にしたいことを尋ねる
- 治療の選好を尋ね、最善の選択を支援する
- 代理決定者の裁量の余地について尋ねる

*Modified from Respecting Choices,
Sudora R, Ann Int Med 2010.*

話し合いの実際

一般的なルール…

- 礼儀正しく、丁寧に
- 患者・家族の防衛機制に応じて**侵襲的でない**コミュニケーションを
- 表情、動作に留意し空気を読む
- つらそうな反応や言動があったらそこで止める
- もしよろしければ～について伺いたいのですが
- もしも・・・万が一・・・

話し合いの実際

…一般的なルール…

- 相手の感情に留意
 - 表情、視線、しぐさ
- 感情に気づいたら、感情への対応を優先する
 - これをおろそかにすると、質の高いコミュニケーションは難しい
 - ・ 時には時間の浪費になってしまうことさえある

話し合いの実際

…一般的なルール

- Hope for the best, Prepare for the worst.
 - まず患者・家族の希望や大切にしていることを尋ね、探索し、共感し、理解する
 - そのうえで、今後の病状の変化に備えて、もしもの時についての話を切り出す

Back AL, Arch Int Med 2007

- まず経験を尋ね
 - その内容を探索する

実際にやってみましょう (研修会の事例です)

事例は58歳女性 看護師 乳がん・肝転移・肺転移 予後3か月
化学療法(タキソテール等)で1年間頑張ってきたが
食欲低下・倦怠感強く 抗がん剤は1か月前中止

自分としては体力の限界を感じ 好きな食べ物を食べて残りの期間
を過ごしたい

リンデロン(ステロイド)内服開始して 今は食欲が少し出ている状況
夫(56歳会社員)と娘(28歳看護師)は違う抗がん剤をチャレンジし
てはというのが自分の気持ちを理解して欲しい

ACPの書類を書いているが 夫と娘にはまだ共有できておらず
友人として 一緒に話すのを手伝って欲しいと依頼された

津山市版ACP みられましたか？

人生の最終段階に望む 医療・ケアについて

アドバンス・ケア・プランニング (ACP)



津山市在宅医療・介護連携推進協議会



「人生会議」はACPの愛称です。

〔活用の手順〕

STEP 1 あなたの希望・思いについて考えましょう。

あなたの人生で大切にしたいこと、あなたがこれから受けるかもしれない医療やケアについて考えてみましょう。
まずは、「どこで」「誰と」「どのような生活を」送りたいかを考えてみてください。

STEP 2 あなたの考えや思いを話し合ってみましょう。

配偶者やパートナーといった身近で信頼のおける人たちと話し合ってみましょう。
話し合う人や人数に決まりはありません。あなたが伝えたい人と話し合うことが大切です。

STEP 3 あなたの代わりに判断をしてくれる人を選びましょう。

話し合ってきた人たちの中からあなたに代わって判断をしてくれる人を選んでみましょう。

STEP 4 あなたの考えや思いをまとめましょう。

まとめた内容を文章に残しましょう。見直すときにこれまでの内容を確認できると考えやすくなるかもしれません。

STEP 5 あなたの考えや思いをまとめましょう。

希望や思いは時とともに変わって行く可能性があります。誕生日や何かの記念日など、機会を捉えて見直してみましょう。

何度も話し合いを行ってみましょう

〔活用の手順〕は「津山市版アドバンス・ケア・プランニング」の流れに沿って説明したものであり、進め方等に決まりはありません。

どこで：

誰 と：

どのような生活を：

事例は58歳女性
看護師 乳がん・
肝転移・肺転移
予後3か月

○あなたが受ける医療・ケアの希望を考えてみましょう。

【用語の説明】

【延命治療とは】

回復の見込みがなく、終末期の患者への生命維持のための医療行為をいいます。

人工呼吸器の装着・胸骨圧迫（心臓マッサージ）・輸液、胃ろうによる栄養補給などがあります。延命治療を行わない場合でも緩和ケアは行われます。

【人工呼吸とは】

人工呼吸器を装着して強制的に肺の換気を行う方法です。

【胸骨圧迫とは】

心肺蘇生法の一つで胸の真ん中を圧迫して血液を脳に送る手法です。

【心肺蘇生とは】

死が迫ったときに行われる胸骨圧迫、気管挿管、気管切開、人工呼吸器の装着、昇圧剤の投与等の医療行為をいいます。

【高カロリー輸液とは】

手足の静脈よりも太い静脈（中心静脈）にカテーテルを挿入して通常の輸液（点滴）よりも栄養素が多く入った輸液を行うことです。

【胃ろうとは】

経管栄養の一つでお腹から胃の中にカテーテルを挿入し栄養や水分を補給する方法です。

【緩和ケアとは】

疾患や病期にかかわらず患者本人と家族の苦痛（身体的、精神的、社会的つらさ）を医療・介護チームとして軽減することです。

希望される項目の□欄にチェックを入れましょう。



私の治療・ケアの希望は：

☐ 一日でも長く生きられるよう治療を受け続けたい。

〔医療行為についての希望〕

①延命のための人工呼吸器 ☐ 希望する ☐ 希望しない

☐ その他（ ）

②胸骨圧迫(心臓マッサージ) ☐ 希望する ☐ 希望しない

などの心肺蘇生法 ☐ その他（ ）

③高カロリー輸液・胃ろうなど ☐ 希望する ☐ 希望しない

による栄養補給 ☐ その他（ ）

④点滴による水分補給 ☐ 希望する ☐ 希望しない

☐ その他（ ）

⑤その他（ ）

☐ 自然な形で最期を迎えられるような治療にしてみたい。

☐ その他（ ）

※ 医療の希望にかかわらず、緩和ケアは行われます。

事例は58歳女性
看護師 乳がん・
肝転移・肺転移
予後3か月

記入例

○あなたの考えや思いについて話したい人はどなたですか。

私の考えや思いについて話したい（伝えたい）人は：

妻、息子（長男）



○あなたの代わりに判断をしてくれる人を選びましょう。

私に代わって判断してくれる人は：

息子（長男）



○あなたの考えや思いを自由に書いてみましょう。

私が望む人生最期の迎え方、過ごし方など：



延命治療はして欲しくない。

できれば最期は自宅で生活したい。

話し合いを繰り返すことであなたの希望や意思を見直し、明確にすることができます。何度でも話し合う機会を持ってみませんか。

また、シートは話し合いの都度記入し、話し合ってきた人たちにも分かるところに保管して下さい。記載した内容は記載した時点でのあなたの思いであり、何度でも見直すことが可能です。

記入欄

○あなたの考えや思いについて話したい人はどなたですか。

私の考えや思いについて話したい（伝えたい）人は：

○あなたの代わりに判断をしてくれる人を選びましょう。

私に代わって判断してくれる人は：

○あなたの考えや思いを自由に書いてみましょう。

私が望む人生最期の迎え方、過ごし方など：

○話し合った年月日等を記入しておきましょう。

話し合った日：

話し合った人：

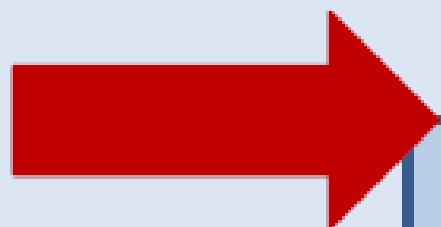
本人氏名：

事例は58歳女性
看護師 乳がん・
肝転移・肺転移
予後3か月

実際の進め方

国民全体 (地域住民への普及啓発)

- ・ 本人の意思を推定する者を本人自身が選ぶ
- ・ 価値を話しあう



人生の最終段階を自分のこととして考える時期にある人 (医療・ケアの現場での実践)

- ・ 準備状態を確かめた上で
- ・ 医療・ケアの目標や具体的な内容について話し合う